

## ⑱公開実用新案公報(U)

昭61-8783

⑲Int.Cl.<sup>4</sup>

F 28 F 1/02

識別記号

庁内整理番号

6748-3L

⑳公開 昭和61年(1986)1月20日

審査請求 未請求 (全1頁)

㉑考案の名称 热交換器の偏平チューブ

㉒実 願 昭59-93475

㉓出 願 昭59(1984)6月21日

㉔考案者 金子 雅志 東京都新宿区西新宿7丁目4番3号 東洋ラジエーター株式会社内

㉕考案者 吉田 洋一郎 東京都新宿区西新宿7丁目4番3号 東洋ラジエーター株式会社内

㉖出願人 東洋ラジエーター株式会社 東京都新宿区西新宿7丁目4番3号

㉗代理人 弁理士 窪田 卓美

## ㉘実用新案登録請求の範囲

複数のフィンが接触配設されると共に、横断面の長軸が空気流れに平行に位置される熱交換器の偏平チューブにおいて、薄い帯状金属板1の長手方向両縁部及びその中心部が他の部分より肉厚となる厚肉部2に予め形成され、該帯状金属板1が筒形に形成されて前記両縁部が接合されると共に、前記各厚肉部2がチューブ断面の長軸の両縁

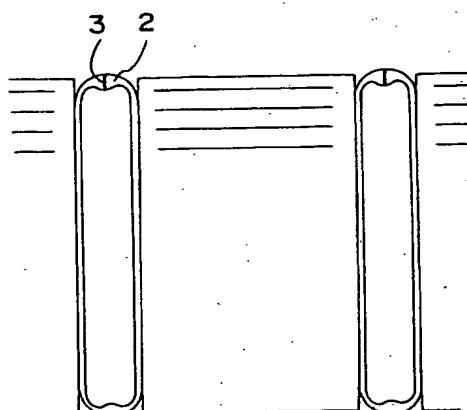
部に位置するように形成されてなることを特徴とする熱交換器の偏平チューブ。

## 図面の簡単な説明

第1図は本考案の偏平チューブを用いた熱交換器の一例を示す要部横断面図、第2図は本偏平チューブの製造方法の一領を示す説明図。

1…帯状金属板、2…厚肉部、3…溶接部。

第1図



第2図

